

令和4年2月 瀬戸内海の赤潮

水産庁瀬戸内海漁業調整事務所

【 概 要 】

- 瀬戸内海では、2件の赤潮が発生した。（前年同月2件）
 - ・内訳は紀伊水道1件、豊後水道1件であった。
 - ・漁業被害は、1件発生した。（前年同月1件）
 - ・出現した赤潮構成プランクトンは2属であった。
- 土佐湾では、1件の赤潮が発生した。（前年同月1件）
 - ・漁業被害は発生しなかった。（前年同月0件）
 - ・出現した赤潮構成プランクトンは1属であった。
- 熊野灘では赤潮が発生しなかった。（前年同月0件）

○ 本月報は、次の各府県から提供のあった赤潮情報を瀬戸内海漁業調整事務所が
取りまとめたものです。

和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、
愛媛県、高知県、福岡県、大分県

○ 年を跨がって発生する赤潮については、年を区切りに再計上しています。

（大分県、豊後水道の *Cochlodinium polykrikoides* 1件）

（高知県、豊後水道の *Mesodinium rubrum* 1件）

○ 本報告の数値は速報値であるため、変更されることがあります。

1. 赤潮発生状況（令和4年2月） 発生 3件（漁業被害1件）

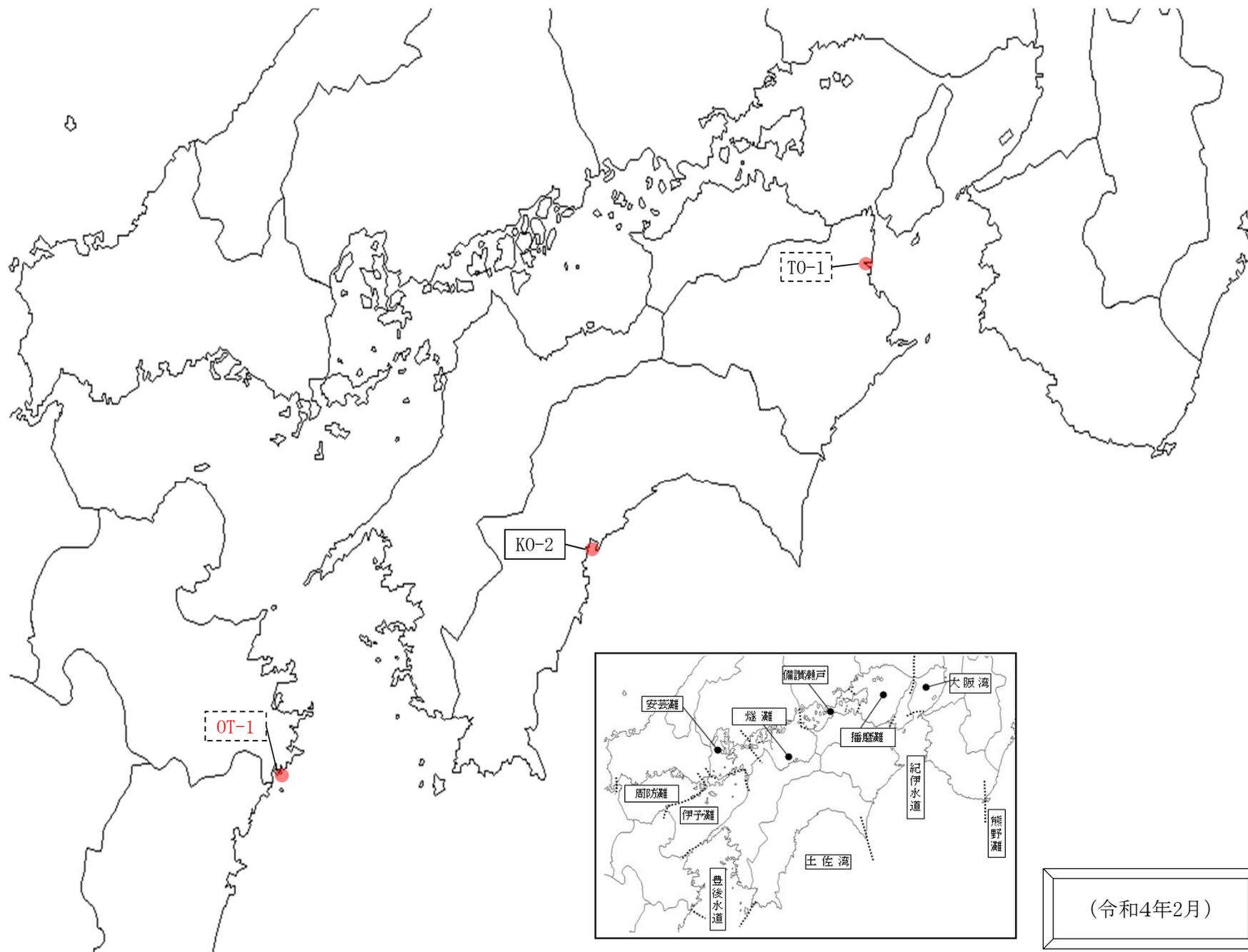
番号	府県別 番号	発生期間（日間）		灘名	府県名	発生水域	赤潮構成プランクトン	最高細胞数 (Cells/ml)	発生状況及び発達状況	水色	漁業 被害	最大面積 (km ²)	発生 水深
		発生日	～ 終息日（日数）										
1	OT- 1	11/29	～ 継続中	豊後水道	大分県	猪串湾	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	1,400	佐伯市猪串湾森崎で11月29日に <i>Cochlodinium polykrikoides</i> が41 cells/ml確認された。	不明	有	不明	5 m層
2	TO- 1	1/11	～ 2/8 (29)	紀伊水道	徳島県	吉野川下流域	クリプト藻（種不明）	21,300	1/11に吉野川下流域でクリプト藻（種不明）が最高21,300cells/ml検出された。その後しばらくの間、高密度で推移したが、2/8に2,000cells/ml未満まで減少し、沈静化に向かった。	不明	無	不明	表層
3	KO- 2	2/24	～ 継続中	土佐湾	高知県	野見湾	<i>Prorocentrum triestinum</i>	24,200	2/24に最高で24,200細胞/mLが確認され赤潮を形成した。	15	無	不明	0～5m

※府県別コード（府県名）：WK-(和歌山県)、OS-(大阪府)、HG-(兵庫県)、OY-(岡山県)、HS-(広島県)、YG-(山口県)、TO-(徳島県)、KA-(香川県)、EH-(愛媛県)、KO-(高知県)、FO-(福岡県)、OT-(大分県)

2. 赤潮による漁業被害(令和4年2月:1件)

番号	府県別 番号	赤潮発生期間 (日数)	発生海域 (府県名)	漁業被害の期間・水域	被害内容 (魚種・へい死尾数)	被害金額 (千円)	赤潮構成プランクトン	最高細胞数 (cells/ml)
1	OT-1	2021 11/29 ~ 継続中	猪串湾 (大分県)	2/28 佐伯市沿岸	養殖魚介類 クエ 800尾	不明	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	1,400

3. 赤潮発生状況図



※ 数字は赤潮発生状況の府県別番号を示し、赤字の場合は漁業被害があることを示す。点線の枠は前月以前から発生していることを示す。

4. 赤潮発生件数

(1) 灘別、月別赤潮発生件数 (令和4年1月～)

【単位：件】

灘名		月												合計		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	延	実	
瀬戸内海	紀伊水道	1	1												2	1
	大阪湾															
	播磨灘															
	備讃瀬戸															
	燧灘															
	安芸灘															
	伊予灘															
	周防灘															
	豊後水道	2	1 ○1												3 ○1	2 ○1
小計	延	3	2 ○1													
	実	3	2 ○1												※	3
土佐湾			1												1	1
熊野灘																
総計	延	3	3 ○1													
	実	3	3 ○1												※	4

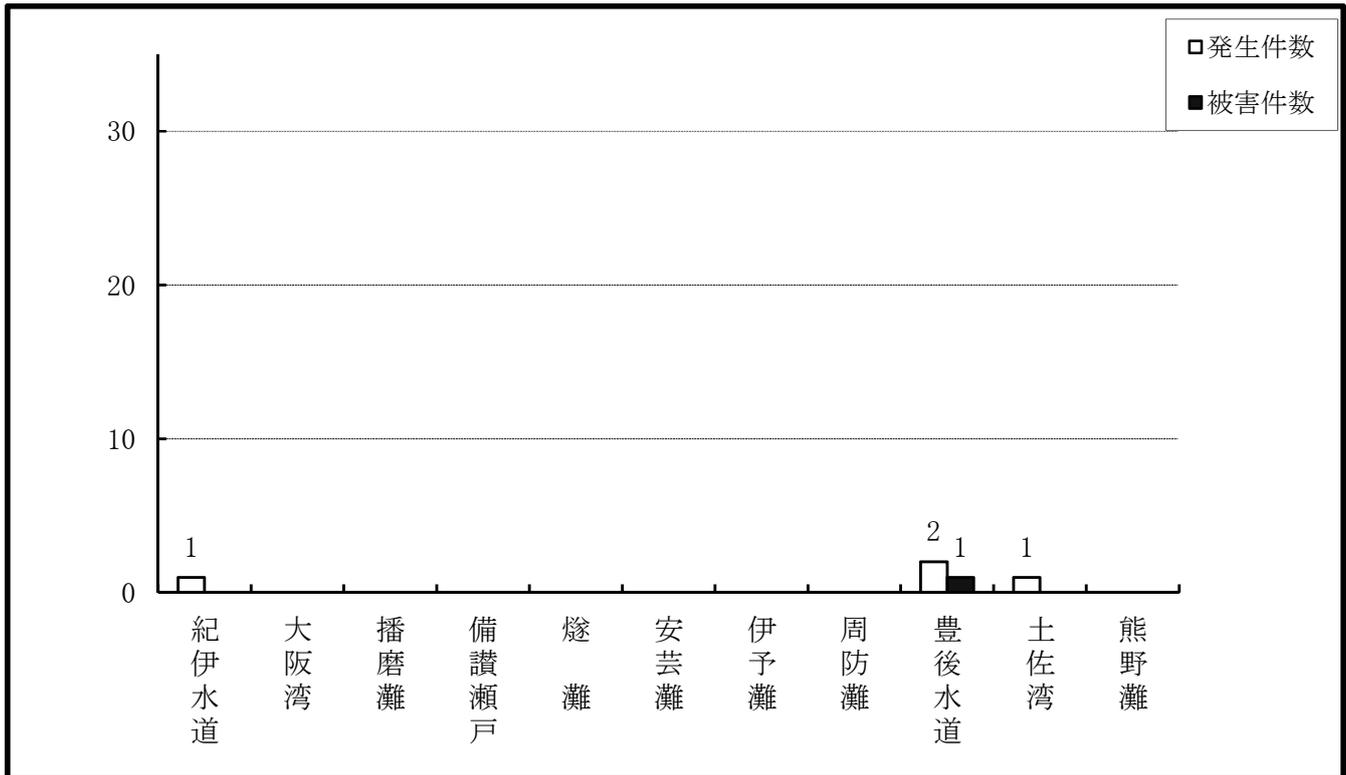
(注)

- 1) 縦計の「延」は複数の灘に、横計の「延」は複数の月にまたがるものを各々計上し、「実」はそれらを1件として計上した。
- 2) ○囲み数字は漁業被害件数を示す。
- 3) ※ 赤潮発生及び漁業被害実件数
(複数の灘もしくは月にまたがるものを1件として計上し、縦・横の計とは一致しない)

(2) 灘別赤潮発生件数

(令和4年1月～)

【単位：件】



(4) 灘別、継続日数別赤潮発生件数

(令和4年1月～)

【単位：件】

灘名		日	～5	6～10	11～30	31～	継続中	不明	計
瀬戸内海	紀伊水道				1				1
	大阪湾								
	播磨灘								
	備讃瀬戸								
	燧灘								
	安芸灘								
	伊予灘								
	周防灘								
	豊後水道				1		1		2
小計	延				2		1		3
	実				2		1		3
土佐湾							1		1
熊野灘									
総計	延				2		2		4
	実				2		2		4

(注) 「延」は複数の灘にまたがるものを各々計上し、「実」はそれらを1件として計上した。

5. プラクトン別、灘別赤潮出現件数（令和4年2月）

【単位：件】

灘 プラクトン		瀬戸内海								瀬戸内海計	土佐湾	熊野灘	合計	
		紀伊水道	大阪湾	播磨灘	備讃瀬戸	燧灘	安芸灘	伊予灘	周防灘					豊後水道
渦鞭毛藻	<i>Cochlodinium</i>									1 ①	1 ①			1 ①
	<i>Prorocentrum</i>											1		1
	小計									1 ①	1 ①	1		2 ①
クリプト藻	種不明	1									1			1
	小計	1									1			1
合計		1								1 ①	2 ①	1		3 ①

(注)

- 1) 出現件数は、プラクトンごとに計上しているのので、複数のプラクトンによって構成される赤潮の場合、赤潮発生件数と必ずしも一致しない。
- 2) 赤潮が複数の灘にまたがる場合、灘ごとに計上している。
- 3) 赤字○囲み数字は漁業被害件数を示す。
- 4) 複数のプラクトンで構成される赤潮で漁業被害が発生した場合は、優占種に漁業被害件数を示した。

6. プランクトン別、月別赤潮出現件数 (令和4年1月～)

【単位：件】

プランクトン		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
渦鞭毛藻	<i>Cochlodinium</i>	1	1 ①											2 ①
	<i>Prorocentrum</i>		1											1
	小計	1	2 ①											3 ①
クリプト藻	種不明	1	1											2
	小計	1	1											2
繊毛虫	<i>Mesodinium</i>	1												1
	小計	1												1
合計		3	3 ①											6 ①

- (注)
- 1) 出現件数は、プランクトンごとに計上しているため、複数のプランクトンによって構成される赤潮の場合、赤潮発生件数と必ずしも一致しない。
 - 2) 赤潮が複数の月にまたがる場合、月ごとに計上している。
 - 3) 赤字○囲み数字は漁業被害件数を示す。
 - 4) 複数のプランクトンで構成される赤潮で漁業被害が発生した場合は、優占種に漁業被害件数を示した。